

西遊詩卷

頼山陽の九州漫遊

谷口 匡 [著] (京都教育大学教授)

四六判・上製・二八四頁・本体二、五〇〇円＋税

2020年12月刊行

傳字是照畫標
難小燈甜酒常恨
泉流る可口宴甜候
私身佳味好飲為程
頼山陽の九州漫遊 谷口 匡
西遊詩卷

雲か山か 呉か越か、
水天 髣髴 青一髪
200年前、九州を旅した才気煥発の文人・頼山陽。
旅行中に揮毫した墨蹟淋漓の漢詩紀行「西遊詩卷」に、
その文人墨客の交往と山紫水明の風光をたずねる。
法藏館 定価：本体2,500円(税別) 巨木空室

二〇〇年前、九州を旅した文人・頼山陽。
「雲か山か呉か越か」で人口に膾炙する
「泊天草洋」ほか多数の詩を作った。そ
の初案等を揮毫した墨蹟淋漓の漢詩紀
行「西遊詩卷」に、その文人墨客の交
往と山紫水明の風光をたずねる。

【目次】

まえがき

I章 漢詩人頼山陽の九州漫遊

- 一、はじめに
- 二、西遊の動機と『日本外史』
- 三、計画のない旅
- 四、西遊中の漢詩の評価
- 五、西遊中の漢詩の特色
- 六、「西遊詩卷」の価値
- 七、耶馬溪の発見

II章 西遊する頼山陽と『杜韓蘇古詩鈔』

- 一、いかにして詩材を貯えたか
 - (一) 頼山陽の漢詩／(二)「中原一髮青何在」の句をいかに得たか／(三) 自編の選集『杜韓蘇古詩鈔』
- 二、「韓蘇詩鈔」に見る山陽の文学観
 - (一) 杜詩を読むために韓蘇の詩を読む／(二) 韓詩・蘇詩の特色を新たに見出す／(三) 蘇詩に見る「士大夫の善誼」
- 三、西遊中の詩と杜詩・韓詩・蘇詩
 - (一) 杜甫からの影響／(二) 韓愈からの影響／(三)「雲か山か……」と蘇詩／(四) 蘇詩からの借用／(五) 頻用した蘇詩の典故
- 四、おわりに

III章 「西遊詩卷」と二つの跋文

- 一、はじめに
- 二、「山陽先生真蹟西遊詩」について
- 三、重野成斎・頼支峰の跋について

- 附 録
- 五、殿峰の死とその後
- 六、おわりに

IV章 「西遊詩卷」訳注

- 一、はじめに
- 二、「西遊詩卷」訳注

1 探訪・京都の漢学

- 一、はじめに
- 二、藤原惺窩とその門下
- 三、石川丈山と元政
- 四、山崎闇斎と崎門学派
- 五、伊藤仁斎と貝原益軒
- 六、石田梅岩の心学
- 七、経学と詩文の分離
- 八、寛政異学の禁と考証学
- 九、海保青陵と頼山陽
- 十、おわりに

V章 下関と頼山陽

- 一、はじめに—下関に来た山陽
- 二、山陽が描く下関の風景
- 三、壇ノ浦の戦いと先帝会
- 四、下関の遊女たち
- 五、酒と芸術
- 六、客 情
- 七、おわりに

VI章 頼山陽と下関の商人広江殿峰

- 一、はじめに
- 二、広江殿峰の生涯と人となり
- 三、山陽と殿峰の出会い
- 四、下関での山陽と殿峰

- 2 入谷仙介先生の教え
- 3 「西遊詩卷」影印 附『山陽先生真蹟西遊詩』跋文

主要参考文献
初出一覧
あとがき

【著者略歴】一九六三年鳥取県生まれ。一九九〇年筑波大学大学院博士課程文学・言語研究科(各国文学専攻)満期退学。筑波大学助手、下関市立大学助教などを経て、現在、京都教育大学教育学部教授。「著書」『読み継がれる史記—司馬遷の伝記文学—(塙書房、二〇一二年)、『徐文長』(共著、白帝社、二〇〇九年)、『唐寅』(共著、白帝社、二〇一五年)など。

注文書		様 冊	
(書店名)		ご担当	
谷口 匡 著		法藏館	
西遊詩卷 頼山陽の九州漫遊		二、五〇〇円＋税	
ISBN978-4-8318-7736-9 C0021		住所	
お名前		お電話	

ご注文は FAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

歴史・日本文学